高校国語(古文)

単元	名	「児のそら寝」	3 時間		
単元の目標	・鎌倉時代の人々の生活や心情、文化に触れ、現代との共通性を見いだして、古文への関心を高める。				
+70°7 II IX	・文語文法の基本の定着をはかる。				
日本語の目標	・現代語と古語の違いを理解する。				
	・現代語の中の古語を見つけられる。				
学習課題	・登場人物の心情を想像し、現代との共通点・相違点を見つける。				
	・古語を現代語と比較し、その特徴を理解する。				
主な学習活動	・説話の時代や背景について調べ、古典の世界に関心を抱かせる。				
	・歴史的仮名遣いで書かれた文章の音やリズムを楽しむ。				
	・説話の背景を踏まえて登場人物の心情を考える。				
	・古文と現代文(訳文)を比べて、古文の文法的特徴を理解する。				
評価の観点	・歴史仮名遣いの文章が流暢に読める。				
	・登場人物の心情を理解し、現代との共通点・相違点が見つけられる。				
	・古詞	語の文法的特徴が理解できる。			

学習活動計画

時	内容	活動	ポイント
冬期休暇	家庭学習課題	 ・「児のそら寝」の背景について簡単に調べる。(ワークシート①) くグループ分け> 鎌倉時代(時代の特徴、人物、出来事) 鎌倉時代(文化、経済、人々の暮らし) 3 当時のイタリア 	・説話の背景となっている時代に触れさせ興味を引き出す。
		④ 寺の生活(食生活・稚児)	
1	宇治拾遺物語(説話) とその背景を知り、歴 史的仮名遣いの文章 を読む。	<めあて>古文の世界を身近に感じる。 知っている昔話を挙げさせ、宇治拾遺物語の説話を紹介する。 (ワークシート②) 調べてきた項目を発表する(各グループ2分) ・範読する。生徒は歴史的仮名遣いに注目しながら聞き、リズムを感じ取る。 ・ペアで音読する。 	・古典の説話と昔話を結びつけることで、古典に対する抵抗を和らげる。 ・古文の音やリズムを楽しむことを意識させる。
	家庭学習課題	・暗唱『いろは歌』『徒然草』冒頭、意味調べ「今も使われる古語」	(ワークシート)
2	話の大まかな流れをつかみ、登場人物の心情を考える。	◇めあて>登場人物の心情について、現代との共通点・相違点を見いだす。 ・全員で本文を音読する。 ・登場人物、時、場所の確認 ・順を追って僧の言った言葉と児の心の中の言葉を書き出し、ストーリーを理解する。(ワークシート③) ・ビデオで確認する。(NHK for School「10min ボックス」) ・児、僧たちのそれぞれの心情と、僧たちが笑った理由について話し合い、ものごとの感じ方・考え方を現代人の自分たちと比べる。(ワークシート④) 	・文章の細かい読解には立ち 入らず、話の内容を楽しむ。 (本文の横に部分訳あり) ・児や僧たちの人間らしさに 注目させ、古典との距離を縮 める。
3	古文の特徴を捉える。	 ◇めあて>現代文と異なる文法的特徴を見つける。 ・イタリア語の現代語文法や古典文法の学習内容についてきく。 日本語の古文と現代文の違いを知っている範囲で挙げさせる。 ・口語訳(抜粋)と本文を比べる。共通点と相違点を見つける。 (ワークシート⑤) ① 省略(助詞、主語、目的語) ② 品詞・活用の導入 -本文中の感動詞・接続詞、活用形 ・暗唱『枕草子』冒頭、ワークブック「古文を読むために」 	・文語文法の導入として、項目を絞って、古文の文法的特徴をつかませる。 (自分たちで見つける。) ・次回以降のために、品詞や活用に軽く触れておく。